

社会資本総合整備計画(復興基本方針関連(復興))(砂防)事後評価書

平成30年3月30日

計画の名称	2 東日本大震災の復興に資する土砂災害対策(復興基本方針関連(復興))																																
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)			交付対象	宮城県																												
計画の目標	東日本大震災等からの復興に向け、土砂災害発生箇所での早期復旧をめざすとともに、2次災害を未然に防止して住民生活基盤の早期再建を支援するため、砂防えん堤、急傾斜地崩壊対策施設及び地すべり対策施設の整備を促進する。 また、地震により土砂災害が起こりやすくなっていることから、過去に土砂災害の被害を受けた箇所及び災害時要援護者施設に係る土砂災害危険箇所の土砂災害対策を推進する。																																
計画の成果目標(定量的指標)	①東日本大震災等により土砂災害を受けた箇所での対策施設完成箇所数 ②過去に土砂災害の被害を受けた箇所及び災害時要援護者施設に係る土砂災害危険箇所のハード対策実施箇所数(土砂災害から守られる住宅戸数)																																
定量的指標の定義及び算式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現状値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現状値(H23)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値(H27末)</th> </tr> <tr> <td>①東日本大震災により土砂災害を受けた箇所での対策施設完成箇所数 東日本大震災等により土砂災害を受け、対策工事が完了した箇所数/東日本大震災等により土砂災害を受け、対策工事に着手した箇所数[母数4]</td> <td>① 0箇所 0.0%</td> <td></td> <td>① 4箇所 100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②土砂災害危険箇所(ランクI)におけるハード対策実施箇所数 (土砂災害から守られる住宅戸数) 県内の土砂災害危険箇所の施設整備実施箇所数/県内の土砂災害危険箇所数(ランクI)[母数3,310]</td> <td>② 614箇所 13,245 18.5%</td> <td></td> <td>② 635箇所 14,821 19.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>●H23時点で継続中の災害フォロー箇所(過去に土砂災害を受け、再び災害を受けやすい箇所)での対策施設完成箇所数 H23時点で継続中の災害フォロー箇所での対策施設完成箇所数/H23時点で継続中の災害フォロー箇所数[母数7]</td> <td>0箇所 0.0%</td> <td></td> <td>6箇所 85.7%</td> <td></td> </tr> </table>											定量的指標の現状値及び目標値			備考	当初現状値(H23)	中間目標値	最終目標値(H27末)	①東日本大震災により土砂災害を受けた箇所での対策施設完成箇所数 東日本大震災等により土砂災害を受け、対策工事が完了した箇所数/東日本大震災等により土砂災害を受け、対策工事に着手した箇所数[母数4]	① 0箇所 0.0%		① 4箇所 100.0%		②土砂災害危険箇所(ランクI)におけるハード対策実施箇所数 (土砂災害から守られる住宅戸数) 県内の土砂災害危険箇所の施設整備実施箇所数/県内の土砂災害危険箇所数(ランクI)[母数3,310]	② 614箇所 13,245 18.5%		② 635箇所 14,821 19.2%		●H23時点で継続中の災害フォロー箇所(過去に土砂災害を受け、再び災害を受けやすい箇所)での対策施設完成箇所数 H23時点で継続中の災害フォロー箇所での対策施設完成箇所数/H23時点で継続中の災害フォロー箇所数[母数7]	0箇所 0.0%		6箇所 85.7%	
	定量的指標の現状値及び目標値			備考																													
	当初現状値(H23)	中間目標値	最終目標値(H27末)																														
①東日本大震災により土砂災害を受けた箇所での対策施設完成箇所数 東日本大震災等により土砂災害を受け、対策工事が完了した箇所数/東日本大震災等により土砂災害を受け、対策工事に着手した箇所数[母数4]	① 0箇所 0.0%		① 4箇所 100.0%																														
②土砂災害危険箇所(ランクI)におけるハード対策実施箇所数 (土砂災害から守られる住宅戸数) 県内の土砂災害危険箇所の施設整備実施箇所数/県内の土砂災害危険箇所数(ランクI)[母数3,310]	② 614箇所 13,245 18.5%		② 635箇所 14,821 19.2%																														
●H23時点で継続中の災害フォロー箇所(過去に土砂災害を受け、再び災害を受けやすい箇所)での対策施設完成箇所数 H23時点で継続中の災害フォロー箇所での対策施設完成箇所数/H23時点で継続中の災害フォロー箇所数[母数7]	0箇所 0.0%		6箇所 85.7%																														
全体事業費	合計(A+B+C)	百万円 4,624	A	百万円 4,181	B	百万円 0	C	百万円 443	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	9.6%																							
事後評価(中間評価)																																	
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																																	
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期																										
							平成30年5月																										
県において、数値目標の達成状況や事業効果の発現を検証し、その結果を踏まえて今後の整備方針を検討した。							公表の方法																										
							県のホームページにて公表																										
1. 交付対象事業の進捗状況																																	
A 基幹事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び省路施設種別	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																	
										H23	H24	H25	H26	H27																			
2-A1-1	砂防	一般	宮城県	直接	-	火山砂防 新設	江合川下流2火山砂防事業	溪流保全工 L=2,000m	大崎市						369																		
2-A1-2	砂防	一般	宮城県	直接	-	火山砂防 新設	迫川火山砂防事業	砂防えん堤工 N=1基	栗原市						629																		
2-A1-3	砂防	一般	宮城県	直接	-	火山砂防 新設	松川下流火山砂防事業	溪流保全工 L=2,400m	蔵王町						731																		
2-A1-4	砂防	一般	宮城県	直接	-	通常砂防 新設	佐手川通常砂防事業	砂防えん堤工 N=1基	仙台市						561																		
2-A1-5	砂防	一般	宮城県	直接	-	通常砂防 新設	鮎取沢通常砂防事業	砂防えん堤工 N=1基	石巻市						266																		
2-A1-6	砂防	一般	宮城県	直接	-	通常砂防 新設	川畑沢通常砂防事業	砂防えん堤工 N=1基	涌谷町						184																		
2-A1-7	砂防	一般	宮城県	直接	-	通常砂防 新設	湯向沢通常砂防事業	砂防えん堤工 N=1基	仙台市						86																		
2-A1-8	砂防	一般	宮城県	直接	-	通常砂防 新設	南台沢通常砂防事業	砂防えん堤工 N=1基	白石市						246																		
2-A1-9	砂防	一般	宮城県	直接	-	通常砂防 新設	大洞沢2通常砂防事業	砂防えん堤工 N=1基	気仙沼市						23																		
2-A2-1	地すべり	一般	宮城県	直接	-	地すべり 新設	追久保地すべり対策事業	押え盛土工	白石市						131																		
2-A2-2	地すべり	一般	宮城県	直接	-	地すべり 新設	平地すべり対策事業	集水井、集水ボーリング、擁壁工	村田町						83																		
2-A2-3	地すべり	一般	宮城県	直接	-	地すべり 新設	山上清水地すべり対策事業	横ボーリング工	仙台市						20																		
2-A3-1	急傾斜	一般	宮城県	直接	-	急傾斜 新設	鹿妻急傾斜地崩壊対策事業	法枠工 L=203m	石巻市						493																		

2-A3-2	急傾斜	一般	宮城県	直接	—	急傾斜	新設	中島の2急傾斜地崩壊対策事業	法枠工 L=45m	気仙沼市							92	
2-A3-3	急傾斜	一般	宮城県	直接	—	急傾斜	新設	前浜の2急傾斜地崩壊対策事業	吹付法枠工 L=230m	石巻市							86	
2-A3-4	急傾斜	一般	宮城県	直接	—	急傾斜	新設	東向陽台急傾斜地崩壊対策事業	吹付法枠工 L=120m	富谷市							42	
2-A3-5	急傾斜	一般	宮城県	直接	—	急傾斜	新設	水浜急傾斜地崩壊対策事業	吹付法枠工 L=145m	石巻市							21	
2-A3-6	急傾斜	一般	宮城県	直接	—	急傾斜	新設	泊浜急傾斜地崩壊対策事業	吹付法枠工 L=180m	石巻市							118	
小計(道路事業)																	4,181	
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H23	H24	H25	H26	H27				
2-C-1	総流防	一般	宮城県	直接	—	緊急改築	再開	北上川圏域総流防事業(緊急改築)	砂防えん堤補強 1式	北上川圏域							222	H24, 25のみ社総交復興枠
2-C-2	総流防	一般	宮城県	直接	—	緊急改築	再開	名取川圏域総流防事業(緊急改築)	砂防えん堤補強 1式	名取川圏域							32	H24, 25のみ社総交復興枠
2-C-3	総流防	一般	宮城県	直接	—	緊急改築	再開	名取川圏域総流防事業(地すべり緊急改築)	集排水ボーリング 1式	名取川圏域							115	H24, 25のみ社総交復興枠
2-C-4	総流防	一般	宮城県	直接	—	緊急改築	再開	阿武隈川圏域総流防事業(緊急改築)	砂防えん堤補強 1式	阿武隈川圏域							74	H24, 25のみ社総交復興枠
合計																	443	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
2-C-1	既存の砂防設備の長寿命化を図り有効活用することにより、基幹事業(2-A1-1, 2-A1-2, 2-A1-5, 2-A1-5, 2-A1-6, 2-A1-9)の実施と合わせ、圏域内での豪雨時の土砂流出による洪水氾濫が軽減される。																	
2-C-2	既存の砂防設備の長寿命化を図り有効活用することにより、基幹事業(2-A1-4, 2-A1-7)の実施と合わせ、圏域内での豪雨時の土砂流出による洪水氾濫が軽減される。																	
2-C-3	老朽化した地すべり対策施設の機能を回復させることにより、基幹事業(2-A2-3)の実施と合わせ、圏域内での地すべりに対する安全度が高まる。																	
2-C-4	既存の砂防設備の長寿命化を図り有効活用することにより、基幹事業(2-A1-3, 2-A1-8)の実施と合わせ、圏域内での豪雨時の土砂流出による洪水氾濫が軽減される。																	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>過去に土砂災害が発生した箇所における対策施設整備を進めることで、土砂災害に対する安全性を高めることができた。</p>																
<p>II 定量的指標の達成状況</p>	<p>指標 ①東日本大震災により土砂災害を受け た箇所での対策施設完成箇所数 ②土砂災害危険箇所（ランクⅠ）におけるハード対策実施箇所数 ●H23時点で継続中の災害フォロー箇所（過去に土砂災害を受け、再び災害を受けやすい箇所）での対策施設完成箇所数</p>	<table border="1"> <tr> <td>最終目標値</td> <td>①100.0%</td> <td rowspan="4">目標と実績値に差が出た要因</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②19.2%</td> </tr> <tr> <td>最終実績値</td> <td>●85.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①100.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②18.9%</td> <td rowspan="2">東日本大震災に伴う復興事業により、技術者や資材の不足、入札不調等が発生したため、計画期間内に整備が终わず、目標値と実績値に差が出る結果となった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>●71.4%</td> </tr> </table>	最終目標値	①100.0%	目標と実績値に差が出た要因		②19.2%	最終実績値	●85.7%		①100.0%		②18.9%	東日本大震災に伴う復興事業により、技術者や資材の不足、入札不調等が発生したため、計画期間内に整備が终わず、目標値と実績値に差が出る結果となった。		●71.4%	
最終目標値	①100.0%	目標と実績値に差が出た要因															
	②19.2%																
最終実績値	●85.7%																
	①100.0%																
	②18.9%	東日本大震災に伴う復興事業により、技術者や資材の不足、入札不調等が発生したため、計画期間内に整備が终わず、目標値と実績値に差が出る結果となった。															
	●71.4%																
<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)</p>	<p>緊急改築事業により、老朽化した砂防堰堤や地すべり防止施設の改修を行うことで、土砂災害に対する安全性を高めることができた。</p>																

3. 特記事項（今後の方針等）

・平成28年度以降の継続事業については、次期計画に位置づけ、引き続き効果発現に向けて取り組む。

4. 整備事例



対策前



通常砂防事業
湯向沢(仙台市)
実施内容：砂防堰堤工



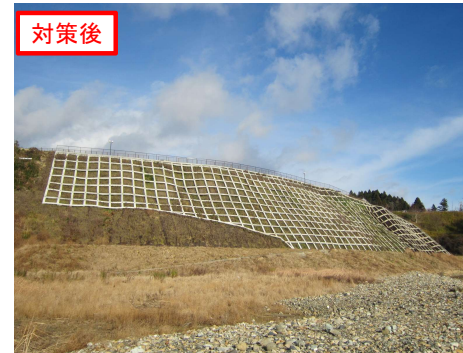
対策後



対策前



急傾斜地崩壊対策事業
中島の2(気仙沼市)
実施内容：法枠工



対策後